

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修

(群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成26年度第2回

テーマ：「図書館による情報発信と著作権」

日時：平成27年3月17日（火）14時00分～16時00分

場所：群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館 ラーニングコモンズ

参加者：47名（大学図書館23名、公立図書館18名、高校図書館6名）

講演：「図書館による情報発信と著作権」

独立行政法人 日本芸術文化振興会 基金部長

国立教育政策研究所フェロー

大和 淳 氏

【概要】 図書館は著作物の宝庫であり、学生・研究者や地域住民に対してそれらを提供することにより学術や生涯学習の推進に貢献する役割を担っている。他方、デジタル化、ネットワーク化の急速な進展により、社会のあらゆる場面でのコンテンツの利用態様が変化してきている。例えば電子書籍や電子ジャーナルの普及に伴って文献等の新たな提供方法が生まれ、また、大学独自の情報発信方法として機関リポジトリの取組も進んでいる。このような新たに便利な技術が開発されるとき、それが著作権とどのような関係が生じるのか。応用問題を解くために必要な基礎的な知識や考え方は何かについて考える。



(会場・群馬大学)



(大和講師)



(末松大学図書館協議会長)



(講義風景)



(質疑応答)

参加者の意見等

「わかりやすかった」「著作権のことは関心があったので聞いてよかった」などの意見が多く聞かれた。大学図書館からの参加者は「リポジトリにおける著作権の説明や、公衆送信権について、大変参考になった」との感想が多かったが、一方で「テーマを絞ったほうが良かった」「情報発信に関しては大学図書館寄りのお話がほとんどだったので、公共図書館に関係するお話ももう少し聞きたかった」という感想を持った方も複数あった。